

の指にとまった二十人——青年の祭典

十一月一日から三日まで、青年教育センターで「青春する人この指にとまれ」と、第十回を記念した青年の祭典が開かれました。

一日目は、くす玉割ってオープニングの後、参加十八団体の紹介とポスター展が開かれ、来場者の人気投票の結果「スキークラブころりん村」が一位になりました。続いて社交ダンス。最後のロックコンサートでは、体育館から突然鳴り響き出したハヴィメタルサウンドに、付近の家から激励も無い込むさまじさ。青年たちは事前



団体紹介とポスターコンクール



コンサート



ガラタ市



手作りカネーパン



に周りの家を回って了解を得ていたのですが「回り切れていなかったようです」と恐縮していました。

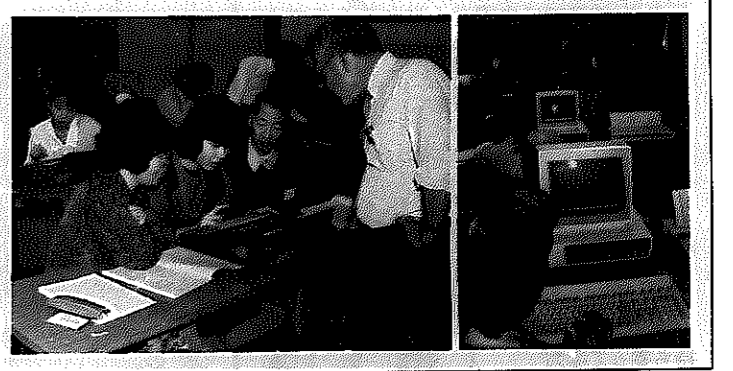
二日目の市長杯争奪綱引大会には九チームが参加し、シャープ新潟電子工業が二年連続優勝。スキ映像会も例年より入場券がたくさん売れ、スキー板や靴、ホテル宿泊券の抽選会も行われました。三日目のおまつり広場では野菜市や、わたあめなどの屋台市とにぎやか。ガラタ市には市民の協力などで集まった不用品約二千点が並べられ、この売り上げ二万円余りが全額、市へ寄付されました。落書きコーナーでは、道路がチョークで真っ白になっていました。カラオケ大会では、熱気に押されてか、センター所長自らも出場。けつきよく、心地よいハーモニー

で聴衆を魅了した、来年成人を迎える青年スクールの女性二人組「田あんと羽貝」が優勝しました。各研修室では、書道や生花など各団体の日ごろの学習の成果が発表され、市民の関心も高かったようです。OA機器に群がる子供たちの姿が時代を反映していました。三日間とも好天に恵まれ、子供からお年寄りまで人手が絶えることなく、バザーの売り切れが続出。入場者は延べ二十人を超えました。この祭典は、市内の各団体を代表した青年三十六人が、七月から準備を進めてきたものです。市民も巻き込もうと、気迫を持って臨んだ青年たちの目的は、どうやら達せられたようです。

高校開放講座 ワンパソコン

白根高校では、十一月十七日と十八日の二日間、青年教育センターで、初心者を対象に「パソコン・ワープロ教室」を開きました。市内や近郊から参加した六十人は十二歳から六十一歳までと幅広く、半数以上が女性でした。

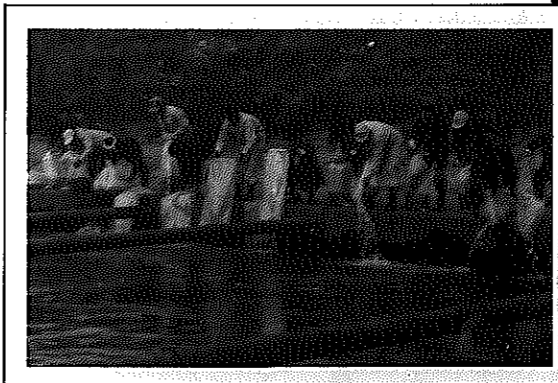
同校では現在、商業科目の選択としてパソコン・ワープロ教育を実施していますが、希望する生徒が年々増えています。「それで地域の人も、技能を身に付けて職場や家庭で生かしてもらおうと今回初めて試みたわけです。参加者の意見や要望を基に、来年度から本格的に取り組んでいきたい」と河内直史校長は話していました。



大通川に稚魚を放流

十一月四日、大通川ほか二か所で、稚魚の放流が行われました。これは、釣魚連と市、味方村、湯東村が、資源保護のため毎年秋に実施しているものです。今回は湯東村の転作田で今年ふ化した体長五センチほどのフナ約一万二千匹と、小千谷から運ばれた体長十センチから十五センチのニシキゴイ約三千匹が放流されました。

大通川周辺は、シーズンになると、子供から大人まで、連日おぜいの釣り人でにぎわっています。



高井小跡地に記念碑

高井小学校跡地に、校歌、校章を刻んだ記念碑が建てられ、十一月三日関係者で除幕式が行われました。同校卒業生で結成した記念碑建立実行委員会(菅巻松一委員長)が「ここに高井小学校があったことを後世に残したい」と閉校十年目に建てたもので、参列者は、碑の前で久しぶりに校歌を歌い満足そうでした。

高井小学校は明治六年五月に開校し、昭和五十一年三月に、統合のため閉校するまでの百三年で、四千人を超える卒業生を輩出しています。



作品展を開催

十一月六日から八日まで、市老人クラブ連合会(小山三二郎会長、会員三千四百人)は、約三百五十人の老人センターで作品展を開き、訪れた会員の目を楽ませました。

作品展は初めての試みで、九月に実行委員会を発足し、準備に取りかかりました。展示されたのは、ワラ細工、書画、盆栽、手芸品など二百六十八点で、実行委員は「気楽に出品してもらい、来年はもっと規模を大きくしたい。ボケ防止には何かをすることがたいせつ」と話します。



コンクール・スポーツ大会結果



●防火ポスターコンクール
白根地区消防本部では、秋の火災予防運動の一環として管内

の小学六年生を対象に防火ポスターを募集しました。十回目の今回は百六十五点の作品が寄せられ「回を追うごとに平均してレベルが高くなってきており、優秀がつけにくい」と、審査員を困らせていました。入選者は次のとおり(市内のみ)。

【銀賞】片野裕美子(白井小) 平田洋子(同) 【銅賞】深沢聡史(茨曾根小) 大竹千晶(白井小) 坂井齊之(同) 石澤景子(同) 【佳作】竹内薫・大竹繁幸・谷綾子(以上白井小) 小池夏美・笠原直美(以上茨曾根小)

●中学生税の標語コンクール
「税を知る週間」の一環として、新潟税務署管内の中学生を対象に行われた税の標語コンク

ールに、市内から二百三十四点の応募があり、次の八人の作品が賞を受けました。

【新潟税務署長賞】
・税金を正しく納めて明るくらし 小林悦子(白根一中三年)
・つくりだそう明日の活力税金で 渡辺幸(新飯田中二年)
・税金でよりよい社会よりよいくらし 小池孝子(大鷲中三年)
・税金で今日のしあわせ豊かな明日へ 長井厚久(庄瀬中三年)

【白根市長賞】
・幸せな明るい未来は納税から 藤川早穂(白根一中三年)
・税金でひらこうみんなの明るい社会 大野和美(新飯田中三年)
・税金はみんなのための明日への財産 上林忍(庄瀬中一年)

・納税で明るい社会の実りあり

●市菊花展覧会
川村宏樹(大鷲中三年)一日から五日まで、白根神社境内で開かれ、おぜいの愛好者らでにぎわっていました。初日の菊花大会には約六百鉢が出品され、次の人が特別賞を受賞しました。

【天菊の部】市長賞 笹川信義(味方村) 市議会議長賞 池浦利信(上塩後) 県議会議員賞 水品英房(東笠巻) 土地改良理事長賞 武田仁四郎(湯東村) 農協組合長賞 平原松太郎(鯉沼) 白根地区公民館長賞 長谷川松太郎(高井興野) 白根神社司馬賞 長谷川常吉(同) 白根商工会会長賞 笠原行吾(道湯)

●関根さんが全国高校サッカー選手権大会に出場
十一月八日、新潟市陸上競技場で開かれた全国高等学校サッカー選手権大会県予選で、関根伸人さん(中央通二・18歳)の所属する新潟工業高校チームが優勝し、来年一月一日から国立競技場で行われる全国大会に出場します。

●少女ミニバスケットボール大会
(11月8・9日。白根小学校)▽六年の部 ①白根小ブルーエンジェルス ②茨曾根小 ③大通ブラザース、根岸スポーツ少年団 ▽五年の部 ①白根小エンジェルジュニアーズ ②茨曾根小 ③根岸スポーツ少年団、庄瀬ストリートファイターズ